



令和3年度学校だより

五福校 ごふくこう

3月8日

No137

文責 本田

学校評議員の皆様にご意見をいただきました。

昨日、第2回の学校評議員会を開催しました。学校評議員制度は地域に開かれた学校づくりを推進するために、学校の教育目標や計画、地域との連携の進め方など広く学校経営に対するご意見を求めるものです。今年度は交通安全協会の高畠さん、民生児童員の市原さん、まちづくりの会の稲田さん、元PTA会長の井手さんに学校評議員としてお世話になっています。本年度はなかなか学校教育活動を広く見ていただくことできなかったのですが、短い時間の中で様々なご意見をいただきました。今後の学校経営に生かしてまいります。主なものは次のとおりです。



○登校班での6年生の態度は素晴らしかった。5年生も下の学年への配慮が見られるなど成長が見られる。

○地域をテーマにした学習は素晴らしい。（3年生の一町一寺のまとめの新聞、2年生の五七五の取り組み等、感心されていました。）他の地域から入って来られた方にも五福の良さを知ってほしい。地域としても郷土を愛する心を育てていくことを続けていきたい。

○これからも人の痛みが想像できる子どもたちが育つように、先生たちには子どもたち一人一人に寄り添って話を聞いてほしい。

○給食を通して、好き嫌いがなくなっている。委員会等もよく頑張っているの、そのことを伝えていくことが必要。

△体力向上や小学校のうちにいろいろな経験を積むことが大切。運動場が狭いこともあるので、まち探検のコースと絡めたり、歩数を記録したり楽しみながら体力向上ができるような工夫を考えると良い。

△子どもの中には夜遅くまで起きて動画を見ている子どももいる。

△子どもの姿勢や鉛筆の持ち方が正しくできていない子どもを見かける。

計画委員会で来年度からのシンボルキャラクターが決定

計画委員会が最後のお仕事として、来年度からのシンボルキャラクターを募集し、何回も話し合いをして、右の五福チェリーちゃんに決まりました。名前は来年度みんなから再度募集することです。他にもいろいろ素晴らしいものがありました。が、「五福の精神を表している」「五福のイメージにぴったりなもの」「キャラクターとしてみんなから親しまれるもの」という3つの基準に当てはめて低学年から高学年までみんながすぐイメージできたり描いたりできるものにと
いうことで選ばれました。



校章にも使われているさくらにしました。五福なので5つの福を書きました。ハートはやさしさ、星は明るさをイメージしました。目は希望に満ちて素直そうな感じにしました。